

# 1章

## デジタルピクチャーアーティストの基礎

### デジタルピクチャーアーティストとは

デジタルピクチャーアーティストは、学校向けに作られた完全学校向けの画像処理ソフトウェアです。画像編集・作品・画像の学習・総合印刷・一括処理の5つの画像処理から成り立っており、授業や校務に合わせてご利用いただくことができます。

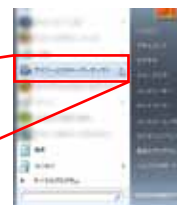
授業では画像編集と画像の学習、作品を活用することで画像編集の基礎から画像の仕組み、マルチメディア作品などを作成することができます。

校務においては画像編集と一括処理などを活用することで、校務のICT化を行うことができます。生徒や先生が直感的に操作できるように、操作方法も非常にわかりやすく作られています。

### デジタルピクチャーアーティストの起動と終了

#### デジタルピクチャーアーティストの起動

- 1 [スタート]メニューから[デジタルピクチャーアーティスト]を選択します。



- 2 下記ウィンドウが表示され、デジタルピクチャーアーティストが起動します。

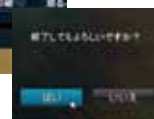
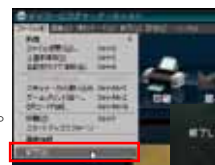


#### デジタルピクチャーアーティストの終了

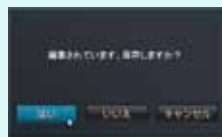
- 1 メニューバーの[ファイル]から[終了]を選択します。

- 2 [デジタルピクチャーアーティスト]ウィンドウが表示されます。

- 3 [はい]を選択します。デジタルピクチャーアーティストが終了します。



※ 作成中のデータを保存していない場合は、[はい]を選択しますと[名前を付けて保存]ウィンドウが表示されるので保存の操作を行ってください。



## ツールバーについて

### > [画像編集]のツールバー



ツールバーのボタン名 / 機能

	<b>ファイルを開く</b> 画像データをキャンバスへ開きます。		<b>トリミング</b> 選択した範囲を切り抜きます。		<b>文字</b> 画像に文字を入力します。
	<b>名前を付けて保存</b> 編集したデータを新規で保存します。		<b>回転</b> 画像を回転します。		<b>ペン</b> 豊富なペンで絵を描きます。
	<b>印刷</b> 開いている画像を印刷します。		<b>解像度変換</b> ピクセル数を減らしファイル容量を小さくします。		<b>装飾</b> スタンプやフレームなどで写真を飾ります。
	<b>戻る</b> 行った作業を1つ戻します。		<b>補正</b> 画像の明るさやコントラストなどを調整します。		<b>合成</b> 2種類の画像を合成します。
	<b>進む</b> 戻した作業を1つ進めます。		<b>フィルタ</b> 画像へ特殊効果をかけます。		<b>メニューへ</b> スタートアップスクリーンへ戻ります。

### POINT

マウスポインタをボタンに合わせると、ボタンが大きくなるので、授業で生徒にボタンを説明しやすいです。



## 授業のはじめ方

デザインピクチャーアーティストを起動しますと、スタートアップスクリーンが表示されます。ここから授業や校務に合った画像処理へ進んでいきます。ここではウィンドウの流れを説明します。

### 画像編集

補正やトリミング、文字入力など画像処理の基本を学習できます。



### 一括処理

一括で解像度変換や補正、ファイル名を変更できます。



### 作品

ミニアルバムやアニメーションなどの作品を作成できます。



### スタートアップスクリーン

### 総合印刷

インデックス形式やサイズを指定した印刷などができます。



### 画像の学習

シミュレーションで画像の仕組みを学習できます。



### POINT

マウスポインタをボタンに合わせると、それぞれのモードの説明がウィンドウの中央に表示されます。

